



「日本人の気概」
 - アジア学院の復興募金に応援を -

アーシャ理事長 牧野 一穂

東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げ、一刻も早い復興をお祈りいたします。

アラハバード訪問後、ダッカで働く娘の所に寄り帰国する直前、家、船、車が大津波に飲み込まれるTV映像を見、原発事故による放射線もれを知りました。帰国を2週間延期、帰宅しています。今回の原発事故は「チェルノブイリ事故級のレベル7」と同等の最悪事故であると報じています。この様な状況の中、小さなことでも自分が身近に出来る支援をするしかありません。

戦後、小学生の時代、焼夷弾や原爆投下による焼け野原を見、生活必需品、衣類、食糧も不足、ボロとすきっ腹で過ごし育った者として、日本人は今まで目を見張る忍耐力をしめし、数え切れない災害、困難を乗り越えてきたと思います。今回またも日本人の真価、気概が問われる機会と存じます。新聞の世論調査によると95%の人は、被害を受けた東北の地域は必ず再興すると答えています。この気概と確信こそ日本人の逞しさであり、今最も必要としています。

私たちのNPO法人「アーシャ」も2004年から活動を開始、現在インドの貧農、貧困、飢餓に喘ぐ土地なし農業労働者、農婦人の方々と「共に生きる日本人の思いやり」を表す働きをしています。私どもの「NPO法

人アーシャ」とアジア・アフリカの農民の自立を目指す「アジア学院」と同じ国際活動NGOとして使命を共にします。そのアジア学院が今回の地震で特に食堂、集会室のある建物、コイノニヤの破損大で、使用不可能、今年度の本校で研修を開始出来ず、他所での開校と早期の本館の修理と建替えも必要としています。使命、志を同じくするアジア学院は「アーシャ」と同じく後援者の寄付で維持されています。今回の災害で多額の復興、再建資金を必要としているアジア学院は、アジア、アフリカの草の根の働き人にとって希望、励ましの星です。「アーシャ」として一刻も早い「アジア学院」復興、通常研修回復を願い、応援したく皆様に緊急支援募金を訴え、協力したく存じました。

アーシャ 寄付納入先

郵便振替口座： 00160-0-315247

口座名義： アーシャ=アジアの農民と歩む会

郵便振替用紙が必要な場合、事務局までご連絡ください

(通常寄付と区別するためにアジア学院支援とお書き下さい)

アジア学院への直接寄付先

郵便振替口座： 00340-8-8758

口座名義： 学校法人 アジア学院

(通常寄付と区別するために震災支援とお書きください)

